

令和5年度 福島県教育研究発表会

一次案内

○ 趣 旨

本県学校教育の向上に資するため、県内公立学校教員（幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校）の優れた教育実践・研究及び福島県教育センターの教育実践・研究の成果の発表と意見交換等を行う。

○ 主 催

福島県教育センター

○ 後 援

福島県小学校長会 福島県中学校長会
福島県高等学校長協会

◎ 内 容

(1) 所外研究発表

①公立幼稚園等、小・中・義務教育学校研究発表
（共同研究、個人研究）

②県立高等学校研究発表
（共同研究、個人研究、令和4年度長期研究員研究）

(2) 教育センター研究発表

（チーム研究、令和4～5年度長期研究員研究）

(3) その他発表

(4) 講演 「『メタ認知』に働きかける授業づくり」
岩手大学教育学部 准教授 久坂 哲也 氏

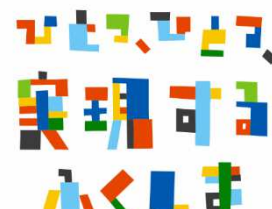
◎ 開催日時

令和5年11月22日（水）
9：50～16：20
オンライン開催

◎ 当日の日程

9:00	9:50	10:05	12:10	13:10	14:30	14:40	16:10	16:20
準備	開会行事	研究発表 午前の部	昼食休憩	研究発表 午後の部	休憩	講演	閉会行事	

- この発表会は、小・中学校初任者研修の地区別研修B及び小・中・高等学校中堅教諭等資質向上研修の選択研修に該当しています。
- 参加申込方法等は福島県教育センターのWebサイト（9月中旬掲載予定）、または二次案内（9月中旬発出予定）をご覧ください。

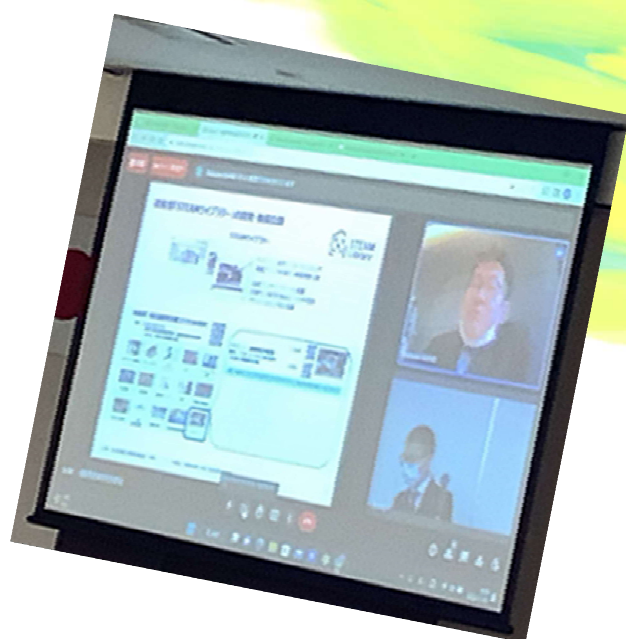


◎ 昨年度の発表会から

昨年度は、令和4年11月25日（金）にオンラインで開催しました。おかげさまで180名を超える方々の申込をいただき、経済産業省 経済産業政策局 産業資金課長 浅野 大介氏（前・教育産業室長）の講演や、小学校・中学校・義務教育学校・高等学校や、県教育庁および教育センターからの研究発表を行いました。

☆参加者の感想（一部）

- オンライン開催の利点を活かし、来所することなく参加することができ、少ない負担で参加することができました。さまざまな研究発表があり、今後の指導にすぐにでも役立てられる実践例が多く、非常に参考になりました。
- 今年度初めて参加させていただきました。どの先生の発表も、奥深くて興味深いものばかりでした。長い期間、一つのテーマをもって研究を続けることがどれだけ子どもの力を伸ばすのか分かりました。
- 小学校、中学校、高校とそれぞれの教育実践について発表を聞くことができ、特に中学校卒業後にどのように高校での学習につながっていくのかよく分かった。高校の先生方の感じている課題も意識して、今後授業作りをしていきたい。



- 「主体的・対話的で深い学びをしましょう、ということは受動的で一方的で浅い学びをやめましょう、という意味です。」という言葉が授業づくりをする上で大変わかりやすい捉え方であると思いました。
- 現在の学校教育が「守破離」の「守」でとどまっているという指摘が、どこか自分がいつも感じていた疑問と同じで、話に聞き入ってしまいました。デジタル環境の整備がなされている意義を再認識し、これからの学校に求められることについて学ぶことができました。お話しいただいた「ルールメイキング」や「STEAMライブラリー」を特別活動に生かしていき、子供たちが社会に出たときに本当に必要な力を身につけさせられるよう、指導に当たっていきたいと考えます。